



中日新聞 改元関連特集 夕刊マルチ広告特集「はじまりのこえ」

令和がスタートした5月1日。その日の夕刊には、新天皇即位の朝見の儀のニュースや世間の改元の瞬間の様子が紙面に記録される。この令和最初の夕刊で、時代の幕開けとともに、企業の目指す指針を語ってもらう「はじまりのこえ」という特集を掲載した。

この特集では、各企業の広告スペースにカギカッコとイラストを入れ、「新しい時代に、これからなにをはじめようか。」というテーマに基づいた、広告主の「こえ」を掲載。紙面の途中には、新聞を手にとった読者が「自分自身のはじまり」を自由に書き込めるページも作成した。そして、未来を見据えた8つの企業の「こえ」と読者一人ひとりの「こえ」が重なり合い、新しい時代を彩っていく、というメッセージを発信した。

協賛には8社の地元有力企業が勢ぞろいし、それぞれが、この新たな時代をどのように発展していくのか、紙面を通して訴える内容となった。

夕刊の記事下
広告面全てを
使ったマルチ特集

名古屋本社 広告二部 風岡 友

はじまりの「こえ」

4面（読者が書き込めるページ）

▼3面（河合塾の「こえ」）

▼2面（出雲殿グループの「こえ」）

▼1面（企画タイトル）

はじまりの「こえ」

▼8面（名古屋バルコの「こえ」）

▼7面（名古屋三越の「こえ」）

▼6面（東邦ガスの「こえ」）

▼5面（スガキシステムズの「こえ」）

▼終面（協賛企業の紹介）

はじまりの「こえ」

▼11面（フジビングループの「こえ」）

▼10面（パロマの「こえ」）

▼9面（企画メッセージ）

はじまりの「こえ」

【協賛社】 出雲殿グループ、河合塾、スガキシステムズ、東邦ガス、名古屋三越、名古屋バルコ、パロマ、フジビングループ（50音順）

↑5月1日付中日新聞夕刊

本件のお問い合わせは、中日新聞広告局 営業推進部 電話052-221-0692(2019/05/31)